

「テラセル®擁壁工法」納入現場紹介

千葉県国道沿い法面補強工事で、テラセル®擁壁工法が施工されました。現場は重機が入らない場所で、加えて施工は夜間にする必要があったため、軽量でコンパクト、且つ施工性の良いテラセル®擁壁工法を提案し、採用いただきました。

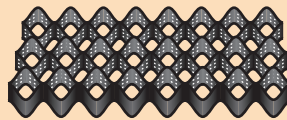
▶ テラセル®擁壁工法とは…

高密度ポリエチレンのハニカム構造をもつジオセルに現場発生土や砕石を充填し、段積みすることで擁壁を構築して切土・盛土のり面を保護する工法です。

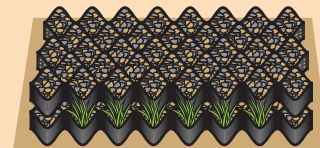
展開イメージ



展開



設置



工 事 名：国道6号二ツ木地区外舗装修繕工事
発 注：関東地方整備局 千葉国道事務所
納 入 場 所：千葉県松戸市内
担 当 営 業：東京営業所 山元所長

納 入 製 品：テラセル®擁壁工法
数 量：約770m²

■担当者コメント

現場が夜間限定工事ということもあり、事前打ち合わせを入念に行いました。そのため、工事は施工指導含め問題なく進めることができ、最終的には予想より早い工期で施工を完了することができました。現場代理人にも非常に好評いただきました。(東京営業所 山元所長)